



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Masanori Ooiwa Address: 〒654-0013 1-1-5 Ote-cho, Suma-ku, Kobe, Japan
Mail : herculesbeatles@gmail.com Tel. : 078-737-0850
URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

- 国際協会会長 K.C. Samuel (インド)
フェローシップとインパクトで次の100年へ
- アジア太平洋地域会長 Shen Chi-Ming (台湾)
新しい時代とともに、エレガントに変化を
- 西日本区理事 田上 正 (熊本むさし)
原点を知り将来に生かす
Know the origin and utilize it in the future!
- 六甲部部長 若林成幸 (宝塚)
困難なときにこそYMCAと共に進もう
Let's proceed with YMCA in difficult times
- 芦屋クラブ会長 大岩雅典
主題 力を合わせて出来ることから始めよう
Let's start with what we can do together

今月の聖句

「一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。」
<ルカ福音書 24:30~31>

5月第1例会

とき: 2023年5月17日(水) 19:00~21:00
ところ: ホテル竹園芦屋 (敬称略)
司会: 桑野友子ワイズ

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 開会点鐘 | 大岩雅典会長 |
| 2. ワイズソング | 斉唱 一同 |
| 3. 聖書朗読 | 羽太英樹ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 大岩雅典会長 |
| 5. 食前感謝 | 山口光一ワイズ |
| 6. 会食・歓談 | |
| 7. ゲストスピーチ | 細谷志朗氏 |
| 「日本ワインのお話」 | (リブゴーシュワイン専門店社長) |
| 8. 事務報告 | 大岩雅典会長 |
| 各事業委員報告 | 各事業委員 |
| 9. YMCA報告 | 横山徹太郎担当主事 |
| 10. ニコニコ報告 | 坂東幸子ワイズ |
| 11. 誕生日祝い | 大岩雅典会長 |
| 権 甲植ワイズ・山口光一ワイズ | |
| 大澤昌子メネット・ | |
| 10. 閉会点鐘 | 大岩雅典会長 |

- | | |
|----------|-----------|
| 会 長 | 大岩雅典 |
| 直前会長 | 大岩雅典 |
| 副 会 長 | 山口光一・福原吉孝 |
| 書 記 | 柏原佳子・上野恭男 |
| 会 計 | 羽太英樹 |
| 監 事 | 上野恭男 |
| 担当主事 | 坂本孝司 |
| 六甲部広報委員長 | 大岩雅典 |

5

May, 2023
311号

『新芽の吹くころ』

大岩 雅典

季節は5月となり、六甲山系を海側から見ますと、お日様に照らされてライトグリーンの世界です。

個人的にですが、桜が満開の頃よりも一斉に芽吹く新芽の季節の方が好きです。生命の息吹を強く感じとてもさわやかな気分になります。

山歩きをしても、車窓から見えても、どこにいても楽しめます。

つつじも花が満開で色とりどり、この地球に生まれてきた幸せを感じます。

戦争とか物価高とか、鳥インフル、騒がしいことこの上ない世情ではございますが、日常生活では菜種梅雨、新芽の芽吹き、寒の戻り等、自然との対話が、日常生活の現実に戻してくれます。

今この時を、楽しく生きられれば、それだけで幸せなのだと思います。起こさせてくれる新芽の芽吹きの頃は私は大好きです。

ワイズメンズクラブは2022-2023期もあと一ヶ月で期が変わり新期へと向かいます。

2023-2024期は上野恭男会長にバトンタッチいたします。



4月例会集計

第1例会出席	例会出席率	BF切手
メンバー 13名	出席者 13名	累計 gm
メネット 名	メイクアップ	
コメント	合計 13名	
ビジター 1名	在籍者 17名	ニコニコ 11,800円
ゲスト 1名	(内広義会員1名)	累計 120,110円
合計 15名	出席率 81.3%	

4 月第1例会報告

日 時： 4月19日(水) 19:00~21:00

場 所： ホテル竹園芦屋 (敬称略)

参加者： 大岩雅典会長・上野恭男・柏原佳子・桑野友子・
島田 恒・堤 清・羽太英樹・濱瀬眞知子・坂東幸
子・福原吉孝・増田知子・山口光一(各ワイズ)・
横山徹太郎担当主事

ビジター： 石田由美子氏(宝塚クラブ)

ゲスト： 坂本孝司元担当主事(ゲストスピーカー)

大岩会長の開会点鐘で始まり、クラブソング斉唱、羽太メンの聖書朗読があった。

食事、歓談の後、メンバースピーチとして坂本孝司担当主事より「留学生のお話」をして頂いた。芦屋クラブにとって、大変お世話になった坂本担当主事が今年度で、交代となる。

坂本担当主事には4年担当して頂いたが、丸2年、コロナ感染による自粛生活となり、留学生の窓口として大変なご苦労をされた報告があった。

留学生が、日本に来たくても来れない・・・緊急事態であり、留学生も半減した。また、留学生の面倒をみる裏話では、日本語も十分にできない留学生の食生活の実態、アルバイトのお世話、食品の手配、関西国際空港まで送ったり、出迎えたり留学生のフォローが大変であった実態が報告されていた。



コロナ感染の中では、帰国した学生の再来日、新規に希望する留学生も大幅に減少し、YMCAにとって経営上、大変苦しく状況下にあった。

最近、日本でもコロナ感染対策も浸透し、規制制限がなくなりつつある。アジア地区も同様にコロナ感染が収まり普通の生活に戻り、規制も解かれ、留学生も徐々に増えてきている。嬉しい報告があったが、留学生の出身国が大きく変わってきているとのことであった。

コロナの感染以前は、中国、台湾、韓国などの留学生が主流であったが、最近ミャンマーからの留学生が著しく増加中である。軍事政権の中、十分な学習が出来ないということで、多数の学生が日本留学を希望して来日している。ミャンマーの留学生の向学心は、称賛に値すると思う。芦屋クラブも留学生交流会でミャンマーの学生をはじめ、懇親する機会があったが、好感が持てる若者が多かった。学生諸子には、YMCAで学んだことを大いに活かして頂きたいと強く思った。

続いて、芦屋クラブ新任の横山担当主事より挨拶があった。宜しくお願い致します。

その後、事業報告、YMCA報告、ニコニコ報告、誕生祝があり、閉会点鐘となった。

坂本担当主事は、今回が、最終講演であった。今後ますますご活躍されることを芦屋クラブ一同、お祈りいたします。

お世話様でした。心から感謝申し上げます。

福原吉孝

尚、宝塚クラブ石田由美子ワイズより、宝塚クラブ35周年記念例会の案内がありました。

みなさま、こんばんは。

芦屋市議会議員選挙において応援いただき、ありがとうございました。



維新や参政党のお誘いを受けず、無所属で皆様に助けをいただいて取り組んだ選挙で、786票の山口光一への思いをいただきました。

残念ながら落選致しましたが、お気持ちをしっかり1週間反省して冷静に考え、4年後に向けてスタートし始めました。

メインの仕事として、立ち上げから関わっている会社で、司法書士事務所所属として働きます。葬儀会社に営業へ行き、

ご遺族の方のサポートをしながら司法書士や税理士につなぐ仕事です。この100日間3万5千人と対話してきた経験を活かし、寄り添うサービスをしていきます。

また和食のオーガニック給食を月1、2回でも導入したい、健康であることによる保険料の減税や、そもそも病気になるのを防ぐことが必要との訴えに共感して下さった方との思いを4年後につなげていくために、オーガニックのお弁当と、塩素を含んだ水で洗わない、店頭で光を照射しすぎて発酵が進みすぎるようなことがない、乳酸菌が腸内でしっかり働く材料にこだわったキムチの販売を、芦屋中心にしていきます。

今年で34歳。平成元年生まれの夫婦と4ヶ月の娘で新しくスタートしていきますので、今後ともぜひご指導ください。これからもどうぞ、よろしくお願い致します。

山口光一

山口光一さま

こんにちは。神戸市の選挙よりも力が入りました。

ご無念でしょうが、真っ直ぐに前を向かれての決意にたたく強くてほしいとのみ祈るばかりです。

キムチ とても美味しいです！

芦屋クラブのお仲間としてこれからも進んで参りましょう！♪

柏原佳子

山口光一様

柏原さんメールと同じ気持ちです。人生は失敗の中から成長が生まれます。前向きな姿勢を深く評価するところです。機会ある時に私の戦略論も聞いてください。

島田 恒

5月4、5日 子供の日のお節句にちなんで4年ぶりに地車の引き回しが復活しました。

遠い昔の笑える話ですが、マンションの3階にちよつと偏屈で有名なおじさまが健在でした。



お手伝いさんが飛んできて、「地車に水を蒔いている！」と！それは地車の若い衆に暑いだらうと水を掛けてあげていたという事でした。

昔はお酒を振る舞う(かける)慣習もあったそう！

今年は、コロナ禍からの開放を告げるようなお囃子と天井で踊る若者の地車を目のあたりにしました。

柏原佳子

CS活動 ゴミ集め

4月8日(土) 神戸市役所前9時集合、CS活動「神戸YMCAまでの街のゴミ集め」運動に参加しました。



東公園の工事が終了し広場では、ヨガを楽しむ人、美しく生まれ変わった公共の場を楽しむ人々が集い、植樹された桜が可愛く花を咲かせていました。

比較的少ないゴミでしたが、タバコの吸い殻と空き缶のポイ捨てが目立ちました。恥ずかしい事です。

その後久しぶりの味香りで昼食と談話が弾み、コロナが終わった開放感を十分に味わいました。芦屋クラブからの参加者は柏原佳子ワイズ・桑野友子ワイズの2名でした。

柏原佳子

神戸バイブルハウスが創立 20 周年

4月15日(土) 日本で唯一の「常設聖書展示館」を備え、キリスト教教派を超えてメッセージを発信する神戸バイブルハウスが創立 20 周年を迎え、神戸栄光教会で式典とコンサートが催された。

礼拝ではカトリック前田枢機卿のメッセージ、関学グリークラブの演奏があり、ランチ交流の後、陣内牧師による



コンサートを楽しんだ。午前・午後とも 180 名を超える参加があり、芦屋ワイズから、桑野・柏原・島田が参加した。井上総主事はじめ、YMCA やワイズ関係者も共に祝いに加わった。

島田 恒

チャリティーコンサート

世界に平和を！ ウクライナに平和を！

4月22日(土) 神戸ポートクラブ主催のコンサートが神戸聖愛教会において開催されました。第1部はお馴染みの長田高校音楽部の混声合唱、若者らしい澆刺とした行動に好感が持てました。続いてウクライナ支援に対する感謝と報告、「日本に避難されているウクライナの人々に引き続き関心を持って欲しい！」と話されました。2部はリコーダーアンサンブル、大小のリコーダーで楽しそうに演奏されました。

DBC クラブの石巻広域クラブから東日本大震災の復興の報告があり、東北の海産物をファンドとして販売されていました。芦屋クラブからは桑野だけの参加でしたが、芦屋クラブの多くのメンバーはチケットを購入して協力しています。

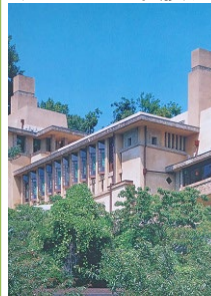
桑野友子

【あのモダニズム建築】

◆3月7日付けの朝刊に《帝国ホテルを照らしめたあなたへ。親愛なる【フランク・ロイド・ライト】様へ》と述べた広告が掲載されていた。そして

◆《今日はあなたがはじめて日本に降り立った記念すべき日ですね。日本の文化を、愛したあなたが設計した 2 代目本館(愛称ライト館)は和洋が美しく融合し、人々が集い、心を繋げるために多くの工夫が施されています。(中略)当時の日本において、その光景はいかに斬新なものだったか…。そして【100 年】の時が経ちましたが『集う』ことの価値までも受け継がれています。(以下略)感謝と尊敬の念をこめて。帝国ホテル」とのセンスの良い手紙文だけの大きな広告が私の目にとまった。

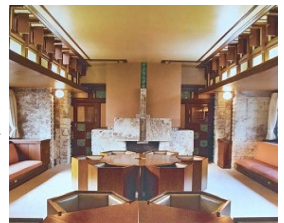
◆前書きが長くなったが本題に入る。私は京阪神に分布している【モダニズム建築】をこよなく愛する一人として《ヴォーリス建築》もファンだが、同様に日本と関係があったアメリカの 20 世紀 3 大巨匠と呼ばれた建築設計家～【フランク・ロイド・ライト(1867～1959)】の《ライト建築。》のファンでもある。大正年間に来日し【帝国ホテル】の設計者としても有名だ。◆芦屋市民の方々は良くご存知だろうが芦屋川の中腹(山手町 3 丁目)に建つ【旧・灘の酒造家・



8 代目山邑家別荘(現在、ヨドコウ迎賓館・重要文化財)を私も過去に 2 回拝観した。!! 実は驚くなけれこの建物こそ 1924 年建設の《ライト建築》だったので。★日本で残っているのは、あの【明治村】に保存されている《旧帝国ホテル本館の一部》と《旧ホテル支配人)林・愛作邸》そして《東京池袋・自由学園・明日館》のわずか 4 件である。◆《山邑家の別荘》として【ライト】が設計したこの建物も【芦屋川】とその源流【甲山山麓】を背に、敷地は南北に細長く、ゆるやかな南傾斜になっており、建物はその山肌に沿って階段状に建てられており、【ライト】が目指す有機的建築(自然界との融合)そのものではなかろうか……。

◆見所は外観はふんだんに細工された【栃木県宇都宮の大谷石(現在は希少)】で施され、室内にも(柱・壁面、3 階・渡り廊下・階段)などにも手の込んだ飾り

細工されたものが到るところに使用されている。又、換気と採光を目的にデザインされた小窓が何と【100 以上】もありその緻密さは実に圧巻だった。◆一般公開では



【ライト建築】は…アメリカと日本本にしか残っていない為来場者は外国人特にアメリカ人が多く、貴重な文化遺産であると思う。まだ御覧になっておられない方は 100 年前にタイムスリップして、幸いにもこの目の前にある貴重な建物に接してみませんか。そしてささやかな【感動】を得てみませんか……。

★尚、手元資料には【ヨドコウ迎賓館】は 1918 年に【ライト】によって設計され彼が帰国後 1924 年に彼の弟子である建築家【遠藤・新(あらた)】と【南・信(まこと)】らによって建設された。とある。 篠坂幸彦

「聖句 読み解き」

師と仰ぐイエスが十字架に架けられ死んで墓に葬られた。弟子たちは途方に暮れる中、二人の弟子が自分たちにも危害が及ばないかと、恐れながら都エルサレムから10数キロ離れたエマオという村へと歩いていた。二人は道すがら師イエスに関わる一切の出来事を話し合い論じ合いながら歩いていた。そのとき、当のイエスが近づいて来て、一緒に歩き始めるが、彼らはそれがイエスだとは分からないまま、十字架の出来事や復活のうわさ話を続ける。エマオ村を通り過ぎようとするイエスと一緒に泊まるように求める。二人の弟子は宿屋での食事の席で、復活のイエスに出会ったのである。「一緒に食事の席に着いたとき、イエスパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。」イエスが十字架に架けられたことは多くの人々が目撃して承知していたが、イエスの復活はごく一部の人々だけが知ることとなったことを聖書は語る。

羽太英樹

4月第2例会議事録

場所： 芦屋市民センター204号室 (敬称略)

日時： 4月26日(水)19:00~20:30

出席： 大岩会長、上野、柏原、桑野、島田、羽太、坂東、山口(各ワイズ)、坂本担当主事

◆ 第1例会について

- ・5月17日(水)「日本ワインのお話」細谷志朗氏
(リブゴージュワイン専門店社長)
- ・6月21日(水)「絵葉書による神戸の歴史」石戸信也氏
- ・7月以降の例会は次回検討。

◆ 6月10日(土)~11日(日)の西日本区大会。4名参加、大岩会長欠席で柏原書記がバナーを持参し代行。

◆ 3月会計報告 羽太会計 承認される。

◆ YMCA報告。台湾 YMCA60周年記念会があり盛大に挙行されたことを横山担当主事より報告あり。

◆ その他：芦屋の25周年記念では、TOAと大岩会長が話し合いをして、会堂の音声を検討することになる。以上

文責：上野恭男

編集後記： ◆3月中旬より、マスクの着脱は個人の判断、イベントの入場制限無し、海外渡航も含め旅行の制限無し、声出し応援 OK、桜の開花と共に、随分と自由に行動出来るようになりました。◆失われた3年間を取り戻すように海外からは多くの観光客が訪れ、連休には各地の高速道路で渋滞が起きたようです。でもやはり日本人、繁華街でも家の近所でも全員マスク無しとは行きませんね。半々くらいでしょうか？◆ワイズメンズクラブもYMCAも各行事がやっと正常に運営されるようになりました。六甲部でも5月~6月は今期の締めくくりと来期の準備で忙しくなりそうです。◆西日本区大会も4年ぶりにゴルフ・前夜祭・各役員会・本大会、翌日のエクスカッションとフルパージョンになりました。どんどん活気づきますように！◆坂本前担当主事のスピーチの報告原稿は別刷りで添付します。皆様もどんどん投稿下さい。 桑野友子

自己紹介 横山徹太郎



今年度からお世話になります、スタッフの横山徹太郎と申します。このたび、芦屋ワイズという素敵なクラブに関わらせていただくことになり、とてもうれしく思います。わたくしは現在、三宮会館のカレッジに勤務し、専門学校を担当しています。

ホテル学科・日本語学科、両学科に携わります。3月までは神戸市立西体育館(指定管理業務)に勤務していました。西体育館の前は、高等学院を担当していました。また学校現場に戻ることにになり、うれしく思っています。3月までとは全然違う業務内容ですが、YMCAの活動は、根本はみな同じだと思います。わたくし休日は、ボランティアで地域の小学生に野球を教えています。少年野球チームの監督をしています。こどもたちに、野球やスポーツの楽しさを体験・体感してほしいと願い、取り組んでいます。不慣れでご迷惑をおかけしますが、どうぞご指導ください。よろしくお願いたします。

YMCA ニュース

◆4/22(土)、台湾:高雄 YMCA で創立 60 周年記念式典が執り行われ、パートナーシップのある神戸 YMCA はゲストとして招待され、井上総主事と横山が出席しました。式典には約440名もの人が参加し、大いに盛り上がりました。また式典では、神戸 YMCA ハンドベル:ディンドンリンガーズの演奏動画が流れました。高雄国際空港到着時から、現地のスタッフには温かく迎えていただき、大変お世話になりました。高雄 YMCA と神戸 YMCA とは、顔の見える関係性が構築されており、今後ますますパートナーシップが深まるよう、交流を続けていきたいと思っております。



◆神戸 YMCA 学院専門学校の2023年度入学式が執り行われました。4月3日にホテル学科・6日には日本語学科の入学式がそれぞれあり、新入生たちがYMCAでの歩みをスタートしました。留学生の入国緩和により、久しぶりに日本語学科にたくさんの学生たちを迎え入れることができました。入学オリエンテーションを経て、4月10日(月)より、両学科とも授業を開始しています。放課後に、ホテル学科の新入生たちが日本語学科の学生たちと会話をするなど、さっそく国際交流をしているようです。

◆2023年度 神戸 YMCA 創立記念礼拝

日時： 5月13日(土) 15:00~16:30

会場： 神戸 YMCA 三宮会館チャペル

メッセージ：「共に集う喜びと新たな使命」

神田健次先生(関西が金大学名誉教授)

担当主事 横山徹太郎